令和５年度第２回宝塚市パブリック・コメント審議会議事録

１　開催日　　令和５年１０月５日（木）午前１０時００分～１２時００分

２　開催場所　中央公民館２階　203・204会議室

３　出席者　　委員６名、事務局４名、傍聴人０名

４　議事　　　令和４年度に実施したパブリック・コメント手続きの個別評価（案件No.1～Ｎｏ.3）について

○事務局　　　　　　ただ今より、令和５年度第２回パブリック・コメント審議会を開催する。本日の出席者は委員８名中５名で過半数出席となり審議会は成立している。なお、傍聴者はなし。

○会長　　　　　　　それでは議事に入る。令和４年度に実施したパブリック・コメント手続きの５件について総合評価表に各委員に評価していただいた。それを事務局でとりまとめた。その資料をもとに本日、次回、に分けて評価をしていく。

　　　　　　　　　　まず事務局から資料１、資料２、資料３についての説明をお願いする。

○事務局　　　　　　資料１、資料２、資料３について説明する。

○会長　　　　　　　本日はNo.1からNo.3の評価を始める。No.1「宝塚市マンション管理適正化推進計画（案）」について、各委員から意見を伺ったうえで、評価を最終的に決めていく。

○委員　　　　　　　「C」評価をした。理由として、概要版を読んでもわからなかった。

この計画は、管理組合向けのものではないか、と思う。一般市民には内容が分かりにくかった。私は、パブコメをする意味がよく分からない。このことが市民から意見数の少なさにつながったのではないか。専門家がこの計画を読めば分かりやすかったのではないか。

○会長　　　　　　　パブコメ向きの案件ではないということなのか。管理組合向けのものではないか、ということか。

○委員　　　　　　　計画の内容は、一般的には分かりにくく、難しいと感じた。アンケートの回答率があまり良くない。各マンションは、管理についてどのように対処しているのか。

〇委員　　　　　　　管理組合の人が読むと分かりやすく、理解できるのであろう。専門的用語などがあり、一般市民には分かりにくいものとなっている。この計画案は、管理組合の方がターゲットとなっているように思う。

○委員　　　　　　　「B」の評価をした。概要版は伝えたい側の意向を考慮すると、伝える側が伝えたい内容をたくさん書くよりもA３版表裏で、何を伝えればいいのか、という観点からシンプルに伝えないといけないが、一定の評価はできる。ただし、パブコメに係る市の回答（レスポンス）で、気になることがある。「原案のとおりとする」という箇所で意見の内容が同類のものなので、その回答も同じ内容となるのは分かるが、市の回答が一部コピー＆ペーストで同じ文言となると不誠実に見えてしまう。市民のパブコメをする行為について、市も一つずつ丁寧なコメントが必要ではないか。見栄えが良くない。

〇会長　　　　　　　気になった点が２つほどある。1つは募集要項について、計画の施策の取組が全く出てこない。こういう必要があるから、この計画を作ったということしか出てこない。計画のポイントを記載せず、概要版を見てください、でいいのか。２つ目は概要版について、以前にも議論したが、A３表裏形式のものでコンパクトに纏められている方式をめぐっては賛否の意見がある。

「国の指針で」この計画を作ったという文言があるが、国の指針（ガイドライン）がどんなものかということが出てこない。なので、国の指針のURLやQRコードなどがどこかにあればいいのではないか。関心のある人が参照できるようにすればどうか。

他に補足・追加等の意見はあるか。

〇委員　　　　　　　概要版の作り方で、キーポイントが分かりにくい。何をやりたいのか概要版からは分からないつくりとなっている。

○会長　　　　　　　評価が分かれるところである。

〇委員　　　　　　　適正化を推進することは分かるが、具体的に何をするのかという情報がないから分かりにくいのではないか。何を、どのようにするのか、が分からない。具体例を挙げていればよかったのではないか。

〇会長　　　　　　　この計画案は、パブコメ対象なのか。管理組合向け、マンションに住んでいる人のみが対象なのではないか。

〇事務局　　　　　　パブコメをする対象案件について、例えば市民何人以上が対象であればパブコメをするといった具体的要件はない。最終的には、担当課の判断、市としてケースバイケースでどうするか判断するものである。マンションの管理に関すること、法定計画であることなので、市としての重要な施策であるという位置付けとなった。判断が分かれるが、この計画は最終的に重要な施策であると判断したものである。

〇会長　　　　　　　マンション管理に関するものと言っても、対象者をマンション居住者に絞るのでではなく、広く市民に関わることだという判断である。したがって、マンションに居住しない人にとっては分かりにくかったのではないか。パブコメしていることに加えて、マンション居住者に関心を持ってもらえるようなアナウンスを考えるべきではなかったか。アンケートの回収率が良くない。

○委員　　　　　　　アンケート募集しているチラシはどのように入手できるのか。

○事務局　　　　　　当課では、アンケートの実施方法については把握していない。

○委員　　　　　　　チラシにQRコードを付けたりすれば簡単にできるなど、よかったのではないか。

〇委員　　　　　　　最近の傾向として、アンケート募集についての回答率が低いなど実施は難しい。現状値と目標値の扱い方に工夫が必要である。アンケートをすることは重要であるが、別途アンケートを補助する調査が必要ではないか。

〇会長　　　　　　　何らかの対策が必要であるということか。他の方法も組み合わせて丁寧に計画案を作成した方が良かったのではないか。

〇委員　　　　　　　アンケートの回答について、マンション管理を実施している管理組合は回答をしている。管理会社まかせで実情を把握できていないマンションは、アンケート回答ができなかったのでは。こうしたマンションに対して、市は何らかの介入ができないのか。（修繕に係る資金問題など）

〇会長　　　　　　　この計画案は読んでいて難しい。用語も難しい。専門的であるので、かみ砕いた表現・内容、専門的用語に注釈をつけるなど配慮が欲しい。次に、対象者が限られるのであれば、その方に届くような配慮が必要なのではないか。概要版について、管理に係るサポートの内容を明らかにするなど中味が具体的であるようなまとめ方にすべきで、もう少し工夫が必要である。

　　　　　　　　　　なお、これまでの委員が述べた評価に対して、アンケートの精度等については審議範囲外である。

○会長　　　　　　　審議会としての評価は、「B」でよろしいか。

　　　　　　　　　→委員了承する。「B」評価とする。

○会長　　　　　　　続いて、Ｎｏ.2「第２次宝塚市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（改定案）　第２次宝塚エネルギー2050ビジョン（改定案）」ですが、ご意見はあるか。

〇委員　　　　　　　数値化されていることは、分かりやすい。しかし、全体的に文字・

文章が多く、読みづらかった。また、目標に対して、具体的な手法が

ぼんやりとしていて分かり辛かった。図表の使用などめりはりがあっ

たり、カラー印刷を利用するなど工夫があればよかった。

〇会長　　　　　　　市の説明によれば、予算上の問題である。原則モノクロである。カ

　　　　　　　　　ラー印刷は、例外である。（国などの補助金の関係）

○事務局　　　　　　事業に対し国等の補助金があるなど予算があれば、カラー印刷がで

きる。市では原則モノクロ印刷である。

〇委員　　　　　　　国・県での重要課題で急いで取り組んでいる問題であることは認識

している。この課題は重要であることは認識している。

〇委員　　　　　　昨年度にも同じような名称の計画案があったような気がした。この問

題は、喫緊の取り組まなければならない重要問題であると認識している。

宝塚市で取り組むのであれば、理念の記載はあるが具体的な内容の記載

がない。取組が明らかでないので、本当にできるのか。

概要版９頁の「市民の役割」の記載で、「努めます」の文言は、違和

感がある。これ以外については、丁寧に作られている。

市民の意見に対して、市は見直しをしていない。

「Ｂ」の評価とした。

〇委員　　　　　　意見募集における概要版の構成は分かりやすくよくできている。様々

な目標等が記載されているが、本当に市は達成できるのか、という点が

市民の関心事である。

　市民の意見に対する市の回答で若干かみ合っていない箇所が見受けら

れる（実現できない場合に、頑張りますは、答えになっていない。）実現

可能であるという説明があった方が良い。説明不足と言わざるを得ず、

誠実さに欠ける部分がある。

　概要版の文字が小さい、見辛い。モノクロ印刷は、カラー印刷に比べ

て制約がある。モノクロ印刷に係る図表の作り方など、フォント数のア

ップ、行間指定をするなど工夫が必要である（行間指定、12ポイント）。

〇会長　　　　　　担当者はこの計画案を作るのに、ものすごく頑張ったことが想像でき

る。募集要項のあたりから、しっかり作り込んでいる。真面目に取り組

んでいる。しかし、その結果文字数が多い、長文となった。文字に強弱

をつけるなどメリハリを利かせてコンパクトに纏める必要である。

表現方法を工夫して欲しかった。審議会での意見をよく反映しており、変更点を、網掛け、変更内容一覧の作成など新旧対照を明らかにしたことは評価できる。しかし、概要版の分量が多い。

　募集要項の頁数が多いことなど、担当者が頑張っていることは評価

できるが、若干工夫が必要である。構成は、よくできている。

○会長　　　　　　全体を通して他に意見はあるか。

〇委員　　　　　　全部読むことが大変である。評価するにあたり全部読んだが、意見募

集要項等について、ポイントを絞って作成して欲しい。

〇委員　　　　　　よく頑張って作っていることは、理解できるが、概要版と本編とで区別

がつかない。

○委員　　　　　　真摯に考えて作られている。ビジョン本編で「すみれファミリー」を

出すのであれば、概要版に出した方がいい。伝え方について少し工夫が

あればよかった。何を削るのか、の判断が重要である。（追加する方が簡

単である。）

市民の責務で、「市民が～努めます」の記載は、工夫した方が良い。

　　　　　　　　よろしくない印象を与えてしまう。

〇会長　　　　　　審議会が指摘したことを踏まえて、新旧の計画の違いを意識したこと、

2つの関連した計画を一つにまとめてパブコメする理由についても、募集

要項で記載されている。

資料の作成にあたり真摯に作成されているが、概要版が長い、文字が

小さい、文章が多いというものになってしまっている。より一層のチャレ

ンジをして欲しい。市民が手に取り、分かりやすいものになるようになど

創意工夫に期待したい。

理念を実現していく方向（実現可能性）に対する不安が、市民の意見と

して提出されている。計画においても、そのあたりの市の説明が物足りな

い。市民からそのような意見が出されていることに対して、市の説明は少

し食い違っている。市民の問いに対して、真摯な市の回答がなされていな

い。審議会として計画内容に立ち入るのではないが、協働の取り組みに

ついて、表現方法（市民の役割の部分）について配慮する必要がある。

〇会長　　　　　　総合評価については、「A」でよいか。

→全委員了承する。「A」 とします。

〇会長　　　　　　続いて、No.３「第３次たからづか食育推進計画（案）」について評価

　　　　　　　　します。

〇委員　　　　　　この計画案は、一番評価する。全般的に工夫されていて、イラスト等

で、非常に読みやすかった。表紙について、インパクトがあった。地産

地消など食育の重要性を認識できる内容となっている。

〇委員　　　　　　キャッチコピーが非常に分かりやすい。募集要項に委員名簿があり分

かりやすかった。概要版も分かりやすかった。１１頁を見れば、全体が

把握できる。要点も分かりやすい。「B」評価としたが、内容的にもう少

し物足りなさを感じた。

〇委員　　　　　　この計画案は、とても分かりやすかった。イラストや、図表があるこ

と、献立メニューなどもあり具体的内容で評価できる。

〇委員　　　　　　イラストなどを使用し、分かりやすい内容となっている。市民が関心

を持ちやすいテーマであった。ただ、市が具体的に何をするのか、が分

からなかった。市民の関心度を高めるような工夫が必要ではないか。啓

発パンフレットと差がないのでは。目標に対する取り組みについて記載

があればよかったのではないか。

数値目標をなぜ設定したのか、明らかとなっていない。その数値の意

味することが、明らかでない。説明できる目標の方が良かったのではな

いか。

市の応答については、とても丁寧になされていた。しかし、「原案どお

　　　　　　　　りとする」のであれば、事情を説明する必要があったのではないか。不誠

実に受けとられる可能性がある。（市の応答No.13）

〇委員　　　　　　各計画案の内容について、よくできている。

〇会長　　　　　　市の応答No.34は、所管課が答えたのか。

○事務局　　　　　所管課が答えたものである。

○会長　　　　　　パブコメに係る意見だから市民相談課として、押さえておくべき意見

である。

　　　　　　概要版が単なる要約でなく、読みやすく分かりやすい内容であった。

１次計画の課題設定（関係性）について対処している。数値目標につい

て分かりやすい。キャッチコピーと表紙写真について工夫されているが、

評価が分かれている。委員名簿も要項にあり分かりやすい。

何をするのか、目標に対する具体的な取り組み施策が概要版にない。

（数値目標を設定する場合、根拠、妥当性を明らかにするべきである。）

　多くの意見をいただいているのに、適切に、丁寧に応答されている。

敢えて言えば、もう少し踏み込んだ回答がなされておれば、より良かった。

〇委員　　　　　　市の応答で、見直しの箇所で、コメントの理由付けについて若干工夫

が必要である。（引き続いて留意していきますなどの表現）

〇委員　　　　　　５年後のビジョンが見えづらい。もう少し具体的であればよかった。

〇委員　　　　　　概要版の内容で、抽象的な表現を具体的に表現する工夫が必要である。

〇委員　　　　　　それぞれよくできている。

〇会長　　　　　　「A」でよろしいか。関心のあるテーマであり、市の回答が適切・丁寧

に応答されている案件である。

　　　　　　　　→委員了承。「A」の評価とする。

〇会長　　　　　　次回も引き続きNo.4～5について個別評価したいと思う。

〇事務局　　　　　次回も資料１～３が必要なので持参ください。場所も本日と同じ。

〇会長　　　　　　以上、これで終了する。

なお、次回10月19日（木）をよろしくお願いします。